

官民連携による整備コストの削減

藤久保地域拠点施設は、藤久保小学校や図書館など、たくさんの公共施設を複合化して整備します。大きな施設なので、かかる費用も大きくなります。現在の概算費用は約 75 億円となっていますが、これから設計や工事の発注をする中で、良い施設を効率的に整備できるようにコスト削減に取り組んでいきます。

小学校・体育館

36.0 億円

藤久保小学校校舎
藤久保小学校体育館



複合公共施設

23.2 億円

藤久保公民館
図書館
保健センター
藤久保出張所
子育て支援センター
藤久保児童館
藤久保学童保育室



その他

16.2 億円

設計・工事監理
外構工事
解体工事
造成工事



合計約 75.4 億円 ※従来方式の場合

官民連携すると・・・

合計約 71.6 億円

約 3.8 億円削減!



官民連携のメリットはコスト削減だけじゃない!

1. サービスの質が向上する

民間のノウハウを活かした効率的な設計の提案を受け、多目的化、新型コロナウイルス感染症に伴う新しい生活様式、災害拠点機能など、求められるニーズに対して質の高いサービスが提供できるようにします。

2. 民間施設の誘致による賑わいの創出

カフェなどの民間施設を併設することで、利用者が使いやすく賑わいのある施設となります。民間施設の収益は事業費の削減にもつながります。

パブリック・コメント実施中!

藤久保地域拠点施設に関する基本的な考え方をまとめた「藤久保地域拠点施設基本計画(案)」のパブリック・コメントを実施しています。

- ▶ 期間: 5/20(木)~6/21(月)
- ▶ 資料の場所: 町ホームページ(右の二次元コード)、施設マネジメント課窓口、役場 4 階情報資料室、町内 3 公民館

町 HP はここからアクセス



官民連携の効果が期待できます

基本計画では、官民連携の導入について丁寧に検討されていると思います。

官民連携によるコスト削減についてもしっかり効果が確認できています。

これからの検討では、効率的に民間を活用して、住民サービスの向上につながるように事業を進めていって欲しいです。



三芳町 PFI アドバイザー
中央大学総合政策学部
川崎 一泰 教授

サステイナブルなまちづくりへ

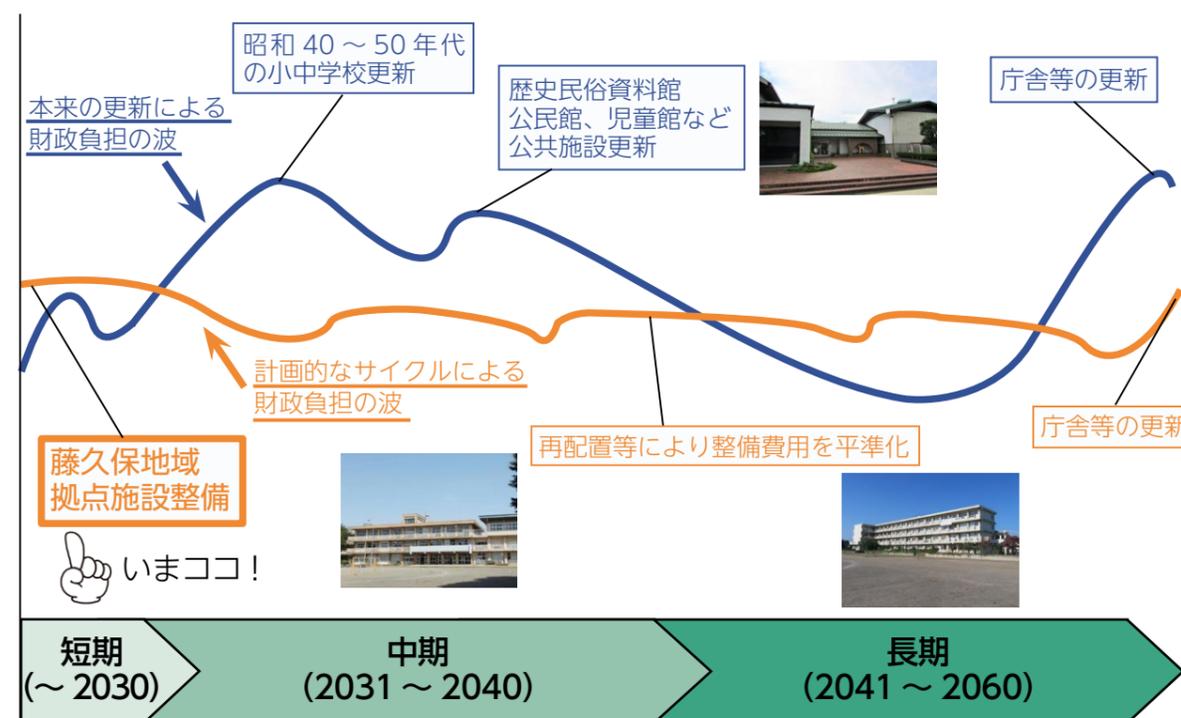
昭和 40 年代からの急激な人口増加に合わせて整備された公共施設が更新時期を迎え、限られた財源の中で施設の更新を行っていくことが全国的な問題となっています。三芳町では、サステイナブル(持続可能)なまちの未来に向けて、今後も必要な公共施設の計画的な更新をはじめます。

問 施設マネジメント課 藤久保地域拠点施設整備準備担当 ☎ 455

公共施設の更新サイクルと財政負担の平準化

町の公共施設は、今後も順次更新が必要となる見込みです。更新が一時期に集中すると財政上の負担が大きくなるため、これらの時期を分散させ、計画的な更新サイクルに沿って実施していくことで財政負担の平準化を図ります。

町では、それらの更新サイクルを三芳町公共施設マネジメント基本計画に定め、藤久保地域拠点施設整備事業は、その計画における最初の事業として、今取り組む必要があります。



↑ グラフ: 三芳町公共施設マネジメント基本計画(令和 3 年 3 月)における更新と再配置の方策の概要

子どもたちの未来のために今できることをしよう!



公共施設の更新や修繕には、多くの費用がかかります。その費用は町の予算から支出されますが、限られた予算の中で更新や修繕をするには、他の支出とのバランスが大切です。

そのため、公共施設を複合化してスリム化をするなど、かかる費用を減らすことが重要となります。

また、それ以外にも大きな施設の更新時期が重ならないように分散して更新をしたり、予算の調達方法などを工夫して支払いを分割払いにするなど、町の予算の中で施設にかかる支出が大きくなりすぎないように平準化することが大切なのです。

財政負担の平準化

もっと知りたい!